工賃向上計画書　参考様式（就継Ｂ　通期用）

作成日：令和　4　年　4　月　10　日

令和　　4　年度　　工賃向上計画書（通期）

事業所（施設）名	さくらの家福祉農園				事業種別	就労継続支援B型		
平均工賃の推移	前々年度（令和　2　年度）実績				前年度（令和　3　年度）実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	11,269	10,794	11,038	月額	15,207	16,567	15,898
	時間額	143	146	144	時間額	190	211	201
平均工賃の目標	今年度（令和　4　年度）目標				令和　4　年度以降の目標			
	期	上半期	下半期	通期	期	R　5　年	R　6　年	R　7　年
	月額	17,617	17,617	17,617	月額	19,483	21,817	23,450
	時間額	216	216	216	時間額	235	263	283

前々年度と比較した前年度の工賃支給状況				
支払総額		（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
延べ工賃支払対象者数		（　）増加傾向	（　）横ばい傾向	（○）減少傾向
延べ勤務時間数		（　）増加傾向	（　）横ばい傾向	（○）減少傾向
平均工賃	月額	（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向
	時間額	（○）増加傾向	（　）横ばい傾向	（　）減少傾向

前年度の作業種目及び収入実績	作業種目	前年度収入額	割合	傾向
	受託加工	0 千円	0 %	-
	自主製造・販売	1,639 千円	60 %	コロナにより減少
	仕入・販売	247 千円	9 %	ブルーベリー回数減により減少
	飲食	0 千円	0 %	-
	サービス	0 千円	0 %	-
	役務（清掃等）	100 千円	4 %	コロナにより減少
	他（　　）	768 千円	28 %	新規作業(豆パッキング)の増加
	合計	2,754 千円	100 %	豆パッキングによる増加が大きい

前年度に工賃向上に効果を上げた具体的な事項	夏野菜苗の農家からの受注生産が拡充した。また、豆のパッキング作業を安定して行うことができた。
工賃向上のためにクリアーしなければならない課題事項（複数回答可）	（　）販売品に魅力がない　（　）販売品種が少ない （○）販売先が限られている　（　）立地条件が悪い （　）受注単価が安い　（○）多量の注文が受けられない （○）他事業所とのネットワークがない （○）職員の作業負荷増大　（　）利用者の作業負荷増大 （　）職員のコンセンサス　（○）利用者特性 （　）その他（　　）
工賃向上のために優先的にクリアーしなければならない課題の具体的な内容と対応策	●苗(野菜・花)生産は一度の生産量が限定されるため、生産した苗の廃棄率をできるだけ下げる。つまりは、販路の確保が必要である。 ●加工品は、順調に生産できているがコロナ禍でバザー等がなくなり販売ルートが確保できなくなった。販売先の開拓が必要である。 ●コロナ禍もあり販路開拓も困難であるため、新規作業も検討する。
今年度計画している改善策（複数回答可）	（○）品質の向上　（○）販路開拓　（　）新商品開発 （　）他事業所とのネットワーク化　（○）内部努力 （○）作業種目の見直し　（○）職員の意識啓発 （　）神奈川県工賃向上支援事業への積極的な参加 （　）その他（　　）
今年度計画している改善策の具体的な内容	●廃棄率を下げるため、一度に生産する苗の量を調整する。 ●販路の確保のため、予め農家への宣伝を増やし、予約数を増やす。 ●外部作業等の受注もできるように作業の調整をする。